

ひろば大代

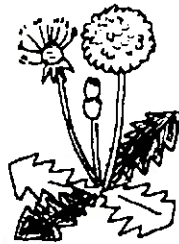
NO. 23

大代公民館

卒業おめでとう

三月に入り、季節は卒業シーズンを迎えました。今年の第三中学校の卒業生は三十三名で、その内大代の卒業生は八名です。勉学に部活動に努力され先日卒業の日を迎えられました。おめでとうございます。

卒業生の皆さんが思い出・抱負などを寄せて下さいました。



卒業して

下市 佐藤玲子

三年間がとてはやかったです。でもみんななどの思い出はたくさんできました。これからは今までの思い出を大切に頑張っていきたいと思います。

卒業

下飯谷 高村一雄

ぼくは今年中学校を卒業します。この中学校生活ではいろいろな思い出ができました。

例えば今年の体育祭です。この体育祭は自分達で全部企画してやったものでした。体育祭は成功に終わり、いい思い出ができました。

高校に行ってもいい思い出をつくり勉強にも力を入れていきたいと思います。

三年間の思い出

山田 畑 悠介

僕の中学三年間は、今思うと、とても短かったように思います。三中でしかできない福祉のクラブや、のほり窯で自分で作った土器を自分たちで焼いて作ったり、とてもよい経験がたくさんできました。

三中で学んだことを大切にしてください。からも頑張っていきたいです。

中学校の思い出

四日市 西本直人

僕の中学校の思い出の中で一番、心に残っているのは修学旅行です。三泊四日の修学旅行はとても楽しかったです。とくに二日目の自由行動が楽しかったです。

あと、修学旅行のほかにも年に一回のスケッチ大会も楽しかったです。絵を書くというのは、ぼくにとって楽しいことなのでいい思い出になりました。ほかにも中学校でいろいろな思い出ができましたが、どれもいい思い出です。

高校に入っても中学校のことを忘れず、頑張っていきたいと思えます。

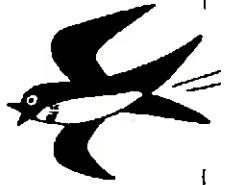
決意

本郷 谷口 満

この三年間は楽しい中学生生活でした。これまで迷惑をかけたけど、これから自分は働くのがんばっていききたいと思えます。

僕の夢

下谷 竹間 望



僕がこの学校に転校して来てから、もう一年と一カ月が過ぎてしまいました。楽しい時間は、すぐ過ぎてしまうものです。またこの時間をやり直したい気持ちでいっぱいです。

僕はこの一年と一カ月で、とても大切な事をみんなから学びました。それは、誰に対しても思いやりを持つことです。まず相手の事を第一に考え、相手の気持ちを大切にします。三中のみんなは、そういう心を誰もが持っているのです。僕もこの純粋な心を大切にしたい。僕もこれを生かすことによって、次の人々、次の人へとこの心を伝え、世界中の人々が純粋な心を持つてくれることが僕の願いです。

だから、みんなもこの純粋な心を忘れないでほしい。そうすることによって、僕の夢の実現が、一步一步近づきます。

高校に入ったなら

本郷 日向 望

高校に入ったなら勉強するということがあたりまえのことですが、僕は中学校の生活をふり返っても勉強するということとは、正直言ってあまりなかった。ので多分高校でも勉強のことについては思うようにいかないと思います。だけど自分がやれるようなことは完璧にやっています。

いろいろなことに、挑戦して自分にあつたものを見つけていきたいし、そこから自分の将来の職業なども考えていきたいと思っています。

中学生生活を終えて

川上 田中 恵

中学に入学してから、三年間あつたという間に過ぎた気がする。三年前は卒業なんて当分先のことだと思つてたのに、気づいたらもう卒業で本当にあつたという間に過ぎたと思つた。

でもとても充実した三年間だと思つた。この三年間でいろんなことがあ

つてとても大切な思い出ができたと思つた。この中学生生活は、絶対忘れないと思つた。



— みつまたの初収穫 —

一万円札の会会長 藤井房子

平成八年夏イベントが切っ掛けで、九年十年の春に、みつまたを植えた。指導された大田農業改良普及センターの職員も、みつまた栽培は知つておられなかった。先進地視察を三回行った県の黒皮品評会に招かれ「一万円札の会」が大田市に誕生したので喜んでいと挨拶され、ちよっぴり感激して帰つたことも脳裏に残っている。

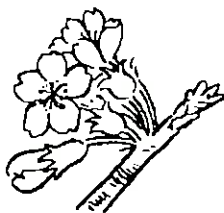
昨年末には立派に成長し、初切りの時期を迎えたが、都合で今年の一月末に指導を受けて、初収穫した。

天も加勢してくれたのか、晴天続きとなり、鉄の音も軽やかに共同作業ができた。高齢者中心の味わいある楽しい作業は、体験者でなくては分からない

い。

あのぼうぼうだった荒野は、今では人情の花と、みつまたの花がいっぱいに、立派に生まれ変わってくれた。私の第一の願いを果たすことができ、感謝と喜びで一杯だ。

来年を見越し、百五十センチ以上に伸びた木だけ切り、約八トンを佐田町へ運んだ。今後は地元で加工し、大蔵省へ納入したり、紙すきができたらと思う。みつまたの栽培面積がもっと増やせたらこの夢も早まるだろうに？町民の温かい見守りと作業の無事終了に感謝し、死ぬまで現役で働きたい。



研修会に出席して

下飯谷 高村玲子

二月二十一日、更生保護婦人会研修会が大田警察署から向田美紀さん、大代駐在所の岡田さんをお招きして開催

されました。この日は午前中、三中の親子のつどいがあり、午後からのこの会は正直なところ(たいぎだなあ)と思いつながらの参加でした。

けれど、向田さんのきびきびとした話し方、少年との関わりをもとにしたお話にそんな気持ちもいつしか消えていきました。

最近、田舎も都会も同時進行で犯罪が起こりそれも「いきなり型非行」が増加していると指摘され、親の姿の大切さ、生活体験、感情体験のできる地域の人との交流の大切さを訴えておられました。私達大人も権利、自由を主張しすぎたり、人間関係が壊れることとおそれ何も言えず、対応がとれなかつたり、また鈍感な親が敏感な子を作っているとも言われ、私自身、ドキッとして考えさせられるお話が続きました。

少年にとって、

- ほめられたことがある経験
- 裏切ることのできない人がいること
- スポーツ、ボランティアをする
- 身近な目標を達成し喜びを感じる事
- 自分も役に立っているという経験

が必要で大切だということでした。

最後に「地域で、できることを一つでも行っていきましょう」という婦人会長さんの提案に

「子供たちにできる限り声をかけましょう」ということで閉会しました。

我家の子供たちをあてはめて考え、親としての自分の態度を反省し、有意義な時間を過ごす事ができました。

地域の方々との交流の中で思いやりのある心を持った人間に育てて行くことができたら幸せだと思います。

* 四月の行事予定 *

- ◆ 1日(木) 寿会総会
- ◆ 2日(金) 和牛組合総会
- ◆ 9日(金) 幼稚園入園式
- ◆ 9日(金) 小学校入学式
- ◆ 9日(金) 第三中学校入学式
- ◆ 11日(日) 島根県知事及び県議会議員一般選挙日
- ◆ 18日(日) 福祉弁当
- ◆ 20日(火) ふれあい教室
- ◆ 23日(金) 連合自治会